

編集後記

2019年度は多次元ランニング・ウォーキング解析システムの導入に伴い、学内で SHIP (Sports & Health Innovation Plaza) が開設され、また本研究所内にも15号館7階に低酸素の実験室も設置されました。また小諸エリア高地トレーニング推進協議会と連携の協定も結ばれ、本研究所も新たに多くの第一歩を踏み出しました。国内では2020東京オリンピック・パラリンピックのレガシーは何だろうかと考えたときに、やはり人材育成やそのシステムそして何よりスポーツ医科学の発展する土壌ができることと思います。本研究所もアスリートのため、その他のすべての運動にかかわる人に貢献できる研究所を目指していきたいと思います。

東海大学スポーツ医科学雑誌も第32号の発刊の運びとなりました。本年度も発刊を迎えられたことに安堵しています。第32号刊行にあたって、ご寄稿いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

編集委員長 宮崎 誠司